

■■■ 福祉社会学会ニューズレター第22号 ■■■  
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.22

<http://www.soc.nii.ac.jp/jwsa/>  
E-mail: ws@univcoop.or.jp

\*\*\*\*\* INDEX \*\*\*\*\*

■ 事務局からのお願い

■ 大会関係

【第8回大会】第8回福祉社会学会大会が5月29・30日に九州大学で開催されました。

【総会関連】総会では、会則の改正、顧問の選出、学会賞・倫理綱領の創設、活動方針、予算案などが承認されました。

【第9回大会】第9回大会は11年に東北大学にて開催の予定です。

■ 『福祉社会学研究』第7号発刊と第8号の投稿募集

【第7号の刊行】第7号が刊行されました。

【原稿募集】第8号の自由投稿論文を募集しています。締切は9月12日（必着）です。

【書評対象の著作募集】書評対象となる著作を募集しています。

■ 理事会報告

■ 新入会員など紹介

■ 事務局からのお願い

住所変更やEmailのアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当宛（学会のメールアドレス先）にお知らせください。また、周辺でNewsletterを受信できていない方がいる場合は学会アドレスまで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

■ 大会関係

【第8回大会】第8回福祉社会学会大会が、去る10年5月29日（土）・30日（日）に九州大学箱崎地区キャンパスにて盛況のうちに開催されました。参加者は145名（うち非会員46名）でした。

【総会関連】大会初日の午前中に理事会が開催され、諸案件について承認・決定されました。これを受けて、2日目午後に総会が開催されました。総会は三重野卓庶務理事が開会を告げて始まり、武川正吾会長の挨拶、安立清史大会実行委員長の挨拶の後、松村直道会員（常磐大学）が議長に選出され、議長の進行のもと報告と審議が行われました。

● 報告事項・承認事項

1. 事務局 三重野卓庶務理事・事務局長より以下が報告された。

(1) 10年5月29日時点における会員数は468名である。

(2) ニューズレターは神山英紀広報担当が中心となって年3回（うち郵送版は年2回）刊行され、第22号は7月上旬に刊行の予定である。

(3) すでにニューズレター第20号において報告しているが、09年6月の大会総会において承認された会費値上げについては、今年度はそれを延期し会費を据置くこととする。

2. 研究委員会 山田昌弘研究委員長より以下が報告された。

(1) 昨年は、須田木綿子研究委員（東洋大学）並びに同大学からの資金的支援も含めた協力も得て、若手応援プロジェクトを称する研究会が好評のうち開催され定例化された。今後もこのような企画・

研究会を積極的に進めてゆく。

(2) 第9回大会の開催に向け準備を進めている。

3. 編集委員会 稲葉昭英編集委員長より以下が報告された。

(1) 『福祉社会学研究』7号が刊行された。投稿論文は13本、うち5本が採択・掲載された。全体的にレベルの高い論文が投稿された。

(2) 第7号より視覚障がい者に向けて、テキストデータを頒布することができるようになった。

(3) 書評対象となる本を増やした。

(4) 第8号刊行に向けて準備を始めている。

(5) オンラインでの投稿を試験的に導入する。

(6) 近い将来の電子ジャーナル化に向けて、著作権に関する検討、具体的には編集規定の検討を始める。

4. 社会学系コンソーシアム 平岡公一社会学系コンソーシアム理事より以下が報告された。

(1) 福祉社会学会が加盟する社会学系コンソーシアムの設立について。

(2) 09年年12月25日に「行政刷新会議・事業仕分け判定に関する見解および要望書」が提出され、本学会長も名前を連ねた。

5. 社会政策関連学会協議会 三重野卓社会政策関連学会協議会協議員より、公開シンポジウム「所得リスクにどう立ち向かうか—社会的包摂のための社会保障」が10年6月5日に開催されることが報告された。

6. 会則・役員選出規程の改正 武川正吾会長・三重野卓庶務理事より以下が提案され、承認された。

(1) 会則第12条（役員任期）3の改正

(旧) 理事の任期は2年とし、重任ならびに再任を妨げない。ただし、連続した3期にわたって、その任につくことはできない。

(改正案) 理事の任期は2年とし、重任ならびに再任を妨げない。ただし、連続した3期にわたって、その任につくことはできない。なお、重任しつある任期は、理事枠外で選出された会長の任期を含まないものとする。

(2) 役員選出規程第1条5の改正

(旧) 顧問は、前期までの会長通算2期経験者について、理事会の推薦を経て、会長が総会に推挙する。

(改正案) 顧問は、前期までの会長経験者について、理事会の推薦を経て、会長が総会に推挙することができる。

(3) 役員選出規程第2条の改正

(旧) 選挙施行年の1月1日において本会会員であり、それまでに会費を完納した者は、理事選出のための選挙権および被選挙権を有する。ただし、理事を2期重任しつある者、また、会長を通算2期務めた者は、その被選挙権を有しない。

(改正案) 選挙施行年の1月1日において本会会員であり、それまでに会費を完納した者は、理事選出のための選挙権および被選挙権を有する。ただし、理事を2期重任しつある者、会長を通算2期務めた者、顧問は、その被選挙権を有しない。なお、重任しつある任期は、理事枠外で選出された会長の任期を含まないものとする。

7. 顧問の選出 庄司洋子会員が、理事会の推薦を経て武川正吾会長から顧問として推挙され、承認された。

8. 学会賞の創設\*<sup>1</sup> 三重野卓庶務理事（小林良二学会賞担当理事の代理）より福祉社会学会賞規程が提案され、承認された。引き続き、第1回選考委員の任期は一年とし、第1回の受賞者の発表は11年度の総会で行うことが報告された。

9. 倫理綱領の創設\*<sup>2</sup> 三重野卓庶務理事より福祉社会学会倫理綱領に対するパブリック・コメントが紹介され対応が説明された。引き続き、福祉社会学会倫理綱領が原案の通り承認された。

10. 2009年度決算案の提示・監査報告 白波瀬佐和子財務担当理事より2009年度決算案について説明がなされた。引き続き、下平好博監事より、染谷倭子・下平好博両監事による同案の監査報告が示され、承認された。

11. 2010 年度活動方針の提案 三重野卓庶務理事より「2010 年度活動方針案」(以下)が提示され、承認された。

1. 福祉社会学会は、これまで同様に、福祉 (welfare, well-being) や社会政策の社会学に関心を持つ研究者中心の学術団体として活動していきます。
2. 第 8 回大会を、2010 年 5 月下旬に九州大学で開催します。2011 年度開催の第 9 回大会についても、その準備を進めていきます。
3. 機関誌『福祉社会学研究』の第 8 号の年度内刊行をめざして、編集作業を進めていきます。
4. 大会に加えて、国際交流も含めた多様な研究交流活動に積極的に取り組みます。昨年度は研究会を年 3 回開催しました。今年度も、若手研究者支援活動など研究会活動の活性化をはかっていきます。
5. 日本学術会議の協力学術研究団体として、いっそう他の学術団体との連携につとめていきます。
6. 新たに学会賞を創設し、2011 年度大会で表彰を予定しています。
7. 学会誌の電子ジャーナル化に向けた検討を始めます。
8. Web や Email を活用し、事務の外部委託による効率化などによって、会員への情報・サービス提供の充実と事務作業の簡便化を進めるとともに、確実な情報提供につとめていきます。

12. 2010 年度予算案の提示 白波瀬佐和子財務担当理事より 2010 年度予算案について説明がなされ、承認された。

13. 第 9 回大会開催校の提案 三重野卓庶務理事より第 9 回大会開催校として東北大学が提案され、承認された。

- \* 1 後日 (6 月 30 日)、第 1 回選考委員として、後藤澄江 [委員長]・鎮目真人・杉野昭博・西下彰俊・松村直道の各会員が、理事会の議を経て会長から任命されました。
- \* 2 倫理綱領の原案・修正案は、倫理綱領ワーキンググループ (メンバーは金子雅彦 [座長]・中田知生・井口高志・土屋葉・森川美絵の各会員) を中心に作成されました。

その後、次期開催校の永井彰理事より挨拶があり、議長交代の後に三重野卓庶務理事が閉会を告げ、第 8 回大会総会はずつがなく終了しました。

【第 9 回大会】 第 9 回福祉社会学会大会は 2011 年に東北大学にて開催の予定です。

---

## ■『福祉社会学研究』第 7 号刊行と第 8 号の投稿募集

---

【第 7 号の刊行】 『福祉社会学研究』第 7 号 (Journal of Welfare Sociology, No. 7) が刊行されました (ISSN 1349-3337 ISBN978- 4-88713-980-0 C3036)。目次は以下のとおりです。

特集 「共助」の時代・再考

この時代を見立てること

立岩真也

償いでもなく、報いでもなく、必要だから

—公的扶助の<無条件性>と<十分性>を支援する—

後藤玲子

<老い>をめぐる政策と歴史

天田城介

[コメント]二つの共助

武川正吾

自由投稿論文

表情を交わし合う相互行為—行為論およびケアとの関連において—

石橋 潔

R. ピンカーの市民権論—T. H. マーシャルの継承と発展—

香川重遠

生活をまわす／生活を広げる—知的障害者当事者の自立生活への支援から—三井さよ  
保育者-保護者間のコミュニケーションと信頼

—保育園における連絡帳のナラティブ分析—

二宮祐子

介護労働とユニット志向ケア導入プロセス

—従来型特養における個別ケアの可能性と限界—

片桐資津子

#### 書評

岩間暁子著『女性の就業と家族のゆくえ—格差社会のなかの受容』

矢澤澄子

奥山正司著『大都市における高齢者の生活』

小川全夫

金 成垣著『後発福祉国家論 比較のなかの韓国と東アジア』

王 文亮

下夷美幸著『養育費政策にみる国家と家族—母子世帯の社会学』

岩田美香

白波瀬佐和子著『日本の不平等を考える：少子高齢社会の国際比較』

田淵六郎

田島明子著『障害受容再考—「障害受容」から「障害との自由」へ』

土屋 葉

大和礼子著『生涯ケアラーの誕生』

稲葉昭英

小磯 明著『地域と高齢者の医療福祉』

高野和良

**【原稿募集】** 下記要領で、『福祉社会学研究』第8号の自由投稿論文を募集します。投稿資格は本会会員に限り、2010年度の加入者については、5月末の大会時までに入会済みであることが条件となります。

#### 1. 論文の種類, 自由投稿論文

福祉社会学研究の学術論文とします。なお、投稿資格は、本会会員に限り、

#### 2. 掲載の可否

レフェリーの査読結果に基づき、編集委員会が決定します。

#### 3. 締め切り

2010年9月12日(日) (必着)

#### 4. 論文の分量

20,000字以内とします。スペースは字数に含めません。

#### 5. 投稿規程, 執筆要領

投稿規程, 執筆要領は必ず、ウェブサイト等で確認してください。論文の分量が超過するなど、執筆要項が守られていない場合には、投稿論文を受け付けません。

なお、本年は試験的にオンラインのみでの投稿（投稿に必要なファイルをすべてメールで送る形式）も受け付けます。オンラインで投稿する場合には、ワードの文書ファイルの形式で、メールにて編集委員会事務局までお送りください。また、かならずファイルのバックアップを取った上で、必要に応じてパスワードを付けてください。その場合には別のメールにてパスワードをお知らせください。オンラインでの投稿の場合には、紙媒体の提出は一切ありません。

#### 6. 自由投稿論文提出先, 問い合わせ先

投稿は郵送、オンラインにかかわらず受領後に受領通知をお知らせします。受領通知の発行をもって、論文の投稿が成立します。投稿後1週間以上経過しても受領通知が到着しない場合には、編集委員会事務局までお問い合わせください。

〒192-0397 八王子市南大沢 1-1 首都大学東京 人文社会系 稲葉昭英研究室内

福祉社会学会編集委員会事務局 (メールアドレス inapa★tmu.ac.jp) ★→@

**【書評対象の著作募集】** 『福祉社会学研究』8号でとりあげる書評対象の著作を募集します。会員の著作であること、単著であることを原則とします。編集委員会事務局まで、1冊の献本をお願いします。なお、ページ数に限りがあるために、すべての著作を取り上げることはできません。この点はお含み

おきください。募集は、投稿論文と同じ2010年9月12日（日）まで受け付けます。

---

## ■理事会報告

---

### ●10年度・第1回理事会の議事録（上記【総会関連】との重複部分など一部省略）

日時：2010年5月29日（土）10時～12時

場所：九州大学 箱崎地区文系キャンパス 共通講義棟 206 教室

出席者：武川，藤村，安立（大会実行委員長），稲葉，後藤，鎮目，鍾，白波瀬，高野，永井，平岡，牧里，三重野，山田，神山（広報担当）

### ●報告事項・審議事項

1. 第8回大会の開催について、安立大会実行委員長から挨拶があった。
2. 総会の議長選出について、三重野庶務理事から意見が求められ、大会1日目に会長を中心に選出・依頼することとなった。
3. 三重野庶務理事より、新入会員の承認の依頼があり承認された。また、入退会者や会費納入状況などについて報告がなされた。
4. 山田研究委員長より、これまでおよび今後の研究会等の活動と大会の準備について報告がなされた。
5. 稲葉編集委員長より、『福祉社会学研究』7号の刊行、8号刊行に向けての準備などについて報告がなされた。
6. 平岡社会学系コンソーシアム理事より、コンソーシアム評議員会議事録やコンソーシアムが共催する公開シンポジウムや「行政刷新会議・事業仕分け判定に関する見解および要望書」などに関して報告がなされた。
7. 三重野社会政策関連学会協議会協議員より、協議会協議員会議事録や公開シンポジウムの開催について報告がなされた。
8. 三重野庶務理事より、会則・役員選出規程の改正案が示され、承認された。
9. 武川会長より、第8回大会総会において会則・役員選出規程の改正案が承認された場合、理事会が庄司洋子会員を顧問に推薦することを申し合わせる提案があり、承認された。
10. 三重野庶務理事より、福祉社会学会倫理綱領案が示され、一部文案修正のうえ、承認された。
11. 三重野庶務理事（小林学会賞担当理事の代理）より、福祉社会学会賞規程案が示され、一部文案修正のうえ、承認された。
12. 白波瀬財務担当理事より09年度決算案・監査報告、10年度予算案の説明がなされ、承認された。
13. 三重野庶務理事より、次回以降の大会開催について審議が求められた。第9回大会の開催校は東北大学とし、第10回大会の候補校を検討してゆくことが決定した。なお東北大学所属の永井理事は編集委員であるため、大会担当者として他の会員を研究委員とする方向で検討することを承認した。
14. 鍾理事より、名誉会員の制度を創設することについて提案があった。
15. 次回理事会を12月12日（日）14:00～から開催することと決定した。

---

## ■新入会員など紹介

---

理事会において以下の方々の入会承認・退会確認がなされました。

（Web版では省略）

【発行・編集】 福祉社会学会事務局